

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 共和レザー株式会社

コード番号 3553 URL <http://www.kvowale.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 宮林 克行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 河内 靖孝

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 053-425-2121

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	20,029	△22.3	△452	—	△270	—	△241	—
21年3月期第3四半期	25,781	—	△546	—	△361	—	△525	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△9.86	—
21年3月期第3四半期	△21.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	36,413	24,439	24,439	66.4	986.56	
21年3月期	34,131	24,757	24,757	71.7	999.20	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 24,169百万円 21年3月期 24,479百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
22年3月期	—	2.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点での22年3月期の期末配当予想額については未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	△7.7	100	—	250	—	100	—	4.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3-4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	24,500,000株	21年3月期	24,500,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,254株	21年3月期	1,165株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	24,498,755株	21年3月期第3四半期	24,498,926株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成22年3月期の期末配当予想額については、今後の業績動向を見極めつつ提案したいと考えており、現時点では未定であります。
 2.上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。今後の経済情勢や事業運営等内外の状況変化により、実際の業績が記載の予想値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコ関連減税を中心とした経済対策の効果やアジア向け輸出の増加などにより持ち直しの動きが見られたものの、円高基調による企業業績への警戒感、および高止まりする失業率や家計所得の減少による個人消費の低迷など、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当企業グループは自動車市場の需要減少や住宅市場の低迷の影響などにより、連結売上高は200億2千9百万円と前年同期（257億8千1百万円）に比べ22.3%の減少となりました。

売上高を用途別にみますと、車両用は、新規車種採用などありましたが、自動車市場の需要減少により、104億2千7百万円と前年同期（143億7千3百万円）に比べ27.5%の減少となりました。壁装用、産業資材用、および家具・履物・雑貨用は市場低迷により、壁装用は35億8千9百万円と前年同期（41億2千9百万円）に比べ13.1%の減少、産業資材用は28億2千6百万円と前年同期（33億6百万円）に比べ14.5%の減少、家具・履物・雑貨用は、31億8千6百万円と前年同期（39億7千1百万円）に比べ19.8%の減少となりました。

利益面につきましては、総力を挙げて原価改善などの内部改善に努めてまいりましたが、前連結会計年度からの急激な自動車市場の需要減少の影響により、連結経常損失は2億7千万円（前年同期 連結経常損失 3億6千1百万円）、連結四半期純損失は2億4千1百万円（前年同期 連結四半期純損失 5億2千5百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、364億1千3百万円となりました。

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べて21.2%増加し、150億1千5百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金などが増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、213億9千8百万円となりました。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べて38.3%増加し、96億4千4百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加などによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、23億2千9百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、244億3千9百万円となりました。これは主に四半期純損失などによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では平成21年10月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目について、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

⑥ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で、当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額にあわせる方法により相殺消去しております。

⑦ 未実現損益の消去

当第3四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引にかかる損益率を合理的に見積もって計算しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,690	2,197
受取手形及び売掛金	7,952	5,302
有価証券	2,385	1,517
商品及び製品	1,299	1,379
仕掛品	544	545
原材料及び貯蔵品	763	724
繰延税金資産	209	292
その他	298	527
貸倒引当金	△128	△93
流動資産合計	15,015	12,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,058	3,247
機械装置及び運搬具（純額）	2,986	3,190
土地	3,727	3,727
建設仮勘定	385	410
その他（純額）	271	340
有形固定資産	10,429	10,917
無形固定資産		
投資その他の資産	304	400
投資有価証券	7,782	7,735
その他	3,205	3,030
貸倒引当金	△324	△344
投資その他の資産合計	10,663	10,421
固定資産合計	21,398	21,739
資産合計	36,413	34,131

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,344	4,852
未払法人税等	27	34
引当金	26	35
その他	2,247	2,047
流動負債合計	9,644	6,971
固定負債		
退職給付引当金	2,160	2,237
その他の引当金	139	165
その他	29	—
固定負債合計	2,329	2,402
負債合計	11,974	9,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810	1,810
資本剰余金	1,586	1,586
利益剰余金	20,746	21,110
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,142	24,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62	8
為替換算調整勘定	△35	△35
評価・換算差額等合計	27	△27
少数株主持分	269	277
純資産合計	24,439	24,757
負債純資産合計	36,413	34,131

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,781	20,029
売上原価	22,149	16,778
売上総利益	3,631	3,251
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,199	1,252
役員賞与引当金繰入額	44	25
役員退職慰労引当金繰入額	38	33
その他	2,895	2,391
販売費及び一般管理費合計	4,178	3,703
営業損失(△)	△546	△452
営業外収益		
受取利息	93	59
受取配当金	15	10
持分法による投資利益	92	124
その他	99	72
営業外収益合計	301	266
営業外費用		
売上割引	55	49
その他	60	35
営業外費用合計	115	84
経常損失(△)	△361	△270
税金等調整前四半期純損失(△)	△361	△270
法人税等	223	△23
少数株主損失(△)	△59	△5
四半期純損失(△)	△525	△241

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当企業グループ（当社および連結子会社）は、その主な事業として各種合成表皮材の製造ならびに販売を行っております。

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）においては、各種合成表皮材の売上高、営業利益又は営業損失および資産の額とも全セグメントの売上高、営業利益又は営業損失および資産の合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報は開示しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）においては、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の合計額に占める本国の割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報は開示しておりません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

区 分	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,592	1,452	744	3,789
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	25,781
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.2	5.6	2.9	14.7

（注）1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) ア ジ ア …… 中国、韓国等

(2) 北 米 …… 米国

(3) その他の地域 …… イギリス等

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

区 分	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,397	725	515	2,638
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	20,029
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.0	3.6	2.6	13.2

（注）1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) ア ジ ア …… 中国、韓国等

(2) 北 米 …… 米国

(3) その他の地域 …… メキシコ等

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において122百万円の剰余金の配当を行っております。